

第153期

# 報 告 書

2022年4月1日から2023年3月31日まで



株式会社 **ニッカトー**

証券コード：5367

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第153期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和に伴い、経済活動の正常化により、消費活動も活発化され個人消費も回復傾向にあります。一方、半導体をはじめとする電子部品や材料等の供給が国際的に逼迫し、引き続き深刻な状況が続く中、ロシアによるウクライナ侵攻が長期化していることや、原材料やエネルギー価格の高騰および為替の急激な変動等による物価上昇への不安感等、先行き不透明で予断を許さない状況下にありました。

このような状況の中、各セグメントにおいて積極的な販売活動を進めるとともに、原材料およびエネルギー価格の高騰に伴う販売価格の見直しを推し進めたことにより、当社事業全体の売上高は前年同期比7.6%増の10,733,137千円となりました。損益面につきましては、営業利益は前年同期比13.4%増の1,102,363千円、経常利益は前年同期比14.5%増の1,177,302千円、当期純利益は前年同期比24.3%増の835,360千円と増収増益となりました。

セグメント別の状況として、セラミックス事業は前述したとおり積極的な販売活動を進めるとともに、販売価格の見直しを推し進めた結果、売上高は前年同期比7.4%増の8,181,672千円となりました。セグメント利益については好調な受注に支えられ工場稼働率が上昇したことで前年同期比10.4%増の985,269千円となりました。エンジニアリング事業につきましては、半導体・電子部品関連向け等の活発な市況に支えられ好調に推移しました結果、売上高は前年同期比8.2%増の2,551,465千円となりました。セグメント利益については増収効果が大きく前年同期比46.7%増の117,094千円となりました。結果、当社目標数値としているROE（自己資本当期純利益率）8%以上、EPS（1株当たり当期純利益）65円以上につきまして、当事業年度の実績としてROEが6.9%と目標数値を下回りましたが、EPSは69円99銭と目標数値を上回る結果となりました。今後も資本の効率的な運用および利益率改善に取組み、引き続き目標数値を目指していくものであります。

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限等の3年間は、社会課題や環境問題への取組みが企業の持続的な成長への大き

な要因となることを警鐘し、また、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化および米中関係の悪化等に起因する世界の分断リスク、それに伴うエネルギーおよび原材料の高騰、そして為替レートの急激な変動等々、様々な要因が複雑に影響し合い、先行きの見通しが非常に予測しづらい状況にあります。そのような状況の中、短期的には当社の主力販売先である電子部品業界の足元の生産調整等の影響があり厳しい展開になるものと予測しておりますが、一方高騰を続けていたエネルギー価格の一部低下および地道に取り組んでいる販売価格への転嫁による一定の効果を見込むとともに、引き続き生産効率の改善等に努めてまいります。また、社会課題や環境問題への取組を実行していくには、人財への投資が重要な要素であるとともに、企業価値向上に必要な要素として、キャッシュ・フローの大宗を環境投資とともに人材投資に活用してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上

取締役社長

大西宏司



# 経営方針

## ● 経営の基本方針

当社は、「経営理念」に基づき、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて、科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献することを基本としています。

独自技術を磨き時代に即応した商品を環境保全に努めて生産の効率化を図り、適正な価格で販売して、株主各位、顧客、従業員並びに地域社会に貢献してまいります。

更に、企業基盤の強化と業績の向上を図り企業価値を高めることに最善を尽くしますとともに、スピーディな経営情報の開示に努めてまいります。

## ● 利益配分に関する基本方針

当社は、経営資源の効率的な運用を行って企業基盤と財務体質の強化を図り、株主各位に中期的な配当の維持に努め、適正な利益還元を行うことを基本としています。

利益配当につきましては、上記観点から配当性向30～50%を目安として配当金を決定し、株主各位のご期待に沿うように努めてまいります。

## ● 中長期的な経営戦略

当社の存在意義である、「独自素材の提供を通じて、脱炭素社会の実現に貢献する」べく、持続的に成長し、社会的課題の解決に取組み続けられる経営基盤の再構築期間と位置づけ、2021年11月に新中期経営計画「CONNECT25」を策定いたしました。その主なテーマは以下のとおりです。

### 【QUALITY】市場ニーズに応える製品・技術の追求

- ・これまで築いてきた競争優位性を元に、変化する市場ニーズに応えられる製品開発を推進
- ・素材・性能・品質・コスト面において、更なる付加価値向上・差別化を追求

### 【ENVIRONMENT】環境負荷軽減のための技術開発

- ・製品製造時の温室効果ガス削減・エネルギー利用減少を実現する、製造プロセス改善を推進
- ・当社の製品により、顧客の生産工程における環境負荷の軽減に繋がる製品・技術開発を強化

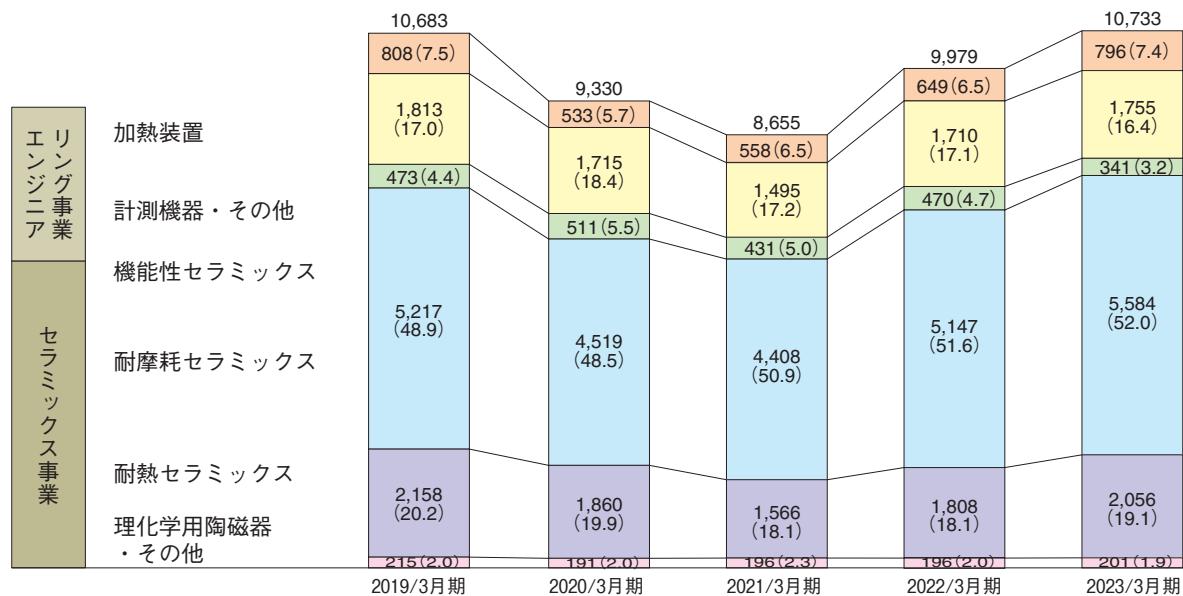
### 【MANAGEMENT】事業ポートフォリオの再構築

- ・全事業・製品を4つのステージ（重点・強化・再構築・再編）に分類定義
- ・市場ニーズに応えるべく、競争力のある重点・強化事業には経営リソースを集中投下、再構築・再編事業は高付加価値化による収益性改善を図る

以上の取組みにより、脱炭素社会の実現に貢献し“Reliable Company”「時代に必要とされる企業だけが成長する」ことを意識し持続的成長に繋げてまいります。また併せて人材の育成および知財管理の強化に努めてまいります。

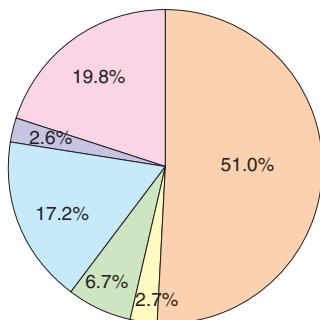
## ● 事業別売上高・構成比

(単位：百万円、( ) は構成比%)



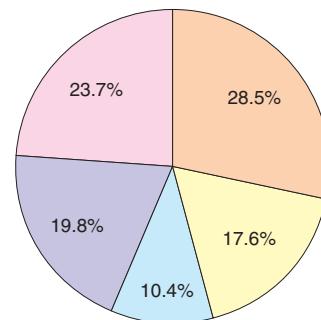
## ● 市場別構成比 (2023/3月期)

セラミックス事業



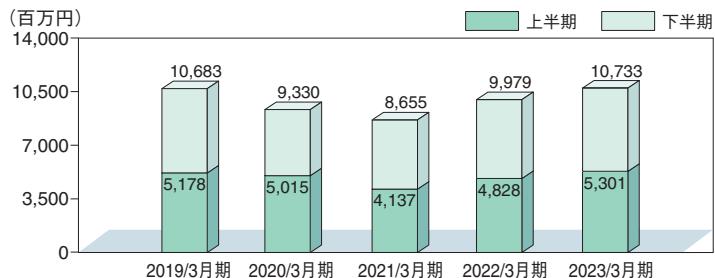
■ 電子部品    ■ 化学・窯業・鉄鋼  
■ 環境・エネルギー    ■ 半導体  
■ 機械・ベアリング    ■ その他

エンジニアリング事業

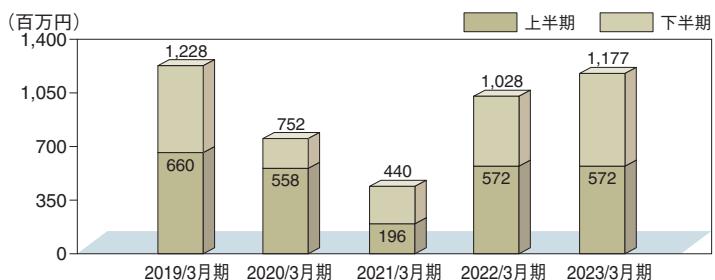


# 業績の推移

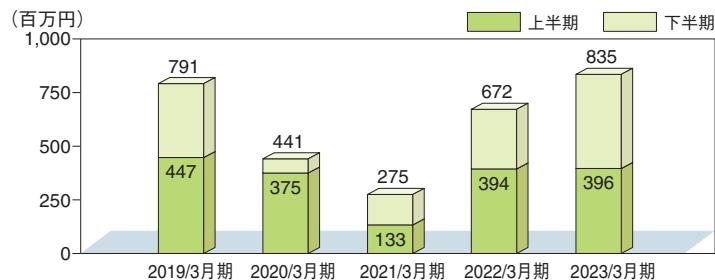
## 売上高



## 経常利益



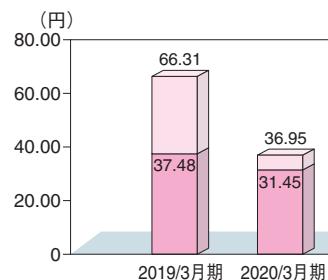
## 当期純利益



項目	2019年3月期 第149期	2020年3月期 第150期
受注高(千円)	11,002,562	8,795,024
売上高(千円)	10,682,834	9,329,618
経常利益(千円)	1,228,320	752,367
当期純利益(千円)	791,491	441,068
1株当たり当期純利益(円)	66.31	36.95
純資産(千円)	10,888,836	10,865,165
総資産(千円)	15,080,961	15,220,841
総資産経常利益率(%)	8.3	5.0
自己資本当期純利益率(%)	7.4	4.1
売上高営業利益率(%)	10.9	7.1

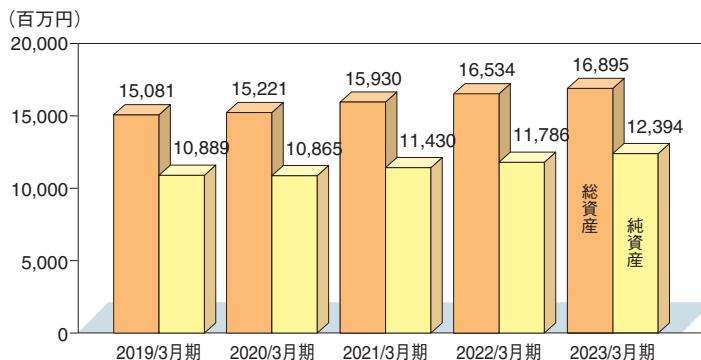
※第152期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計  
おり、第152期以降の財産及び損益の状況については、  
ております。なお、これによる財産及び損益に与える

## 1株当たり当期純利益



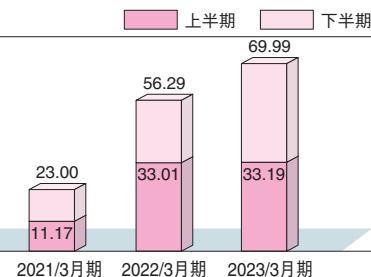
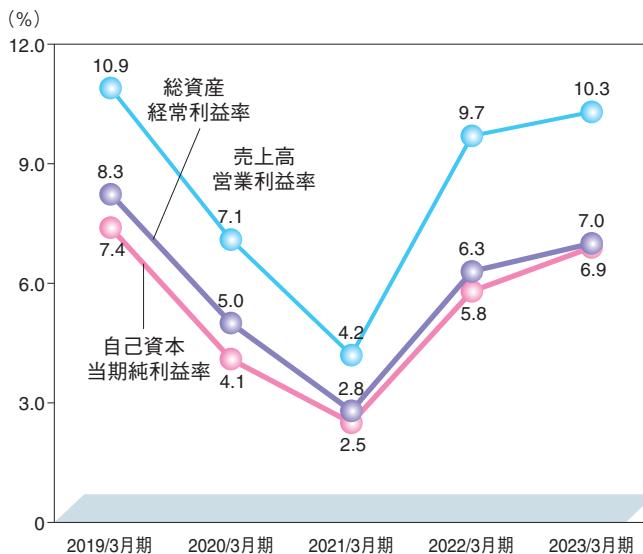
## ● 総資産・純資産

2021年3月期 第151期	2022年3月期 第152期	2023年3月期 第153期
8,710,494	10,466,713	11,861,140
8,654,588	9,978,775	10,733,137
439,799	1,027,914	1,177,302
274,575	671,884	835,360
23.00	56.29	69.99
11,429,965	11,786,460	12,393,613
15,930,202	16,533,730	16,894,948
2.8	6.3	7.0
2.5	5.8	6.9
4.2	9.7	10.3



## ● 自己資本当期純利益率、総資産経常利益率、売上高営業利益率

基準第29号（2020年3月31日）等を適用して当該会計基準等を適用した後の数値を記載し影響はありません。



# 貸借対照表

資 産 の 部			
期 別 科 目	第153期 (2023年3月31日現在)	第152期 (2022年3月31日現在)	第151期 (2021年3月31日現在)
<b>流 動 資 産</b>	<b>10,253,516</b>	<b>9,606,685</b>	<b>8,424,258</b>
現 金 預 金	3,508,317	3,357,885	2,676,471
受 取 手 形	423,986	487,858	492,602
電 子 記 録 債 権	775,680	783,950	580,989
売 掛 金	2,385,352	2,185,131	1,882,159
契 約 資 産	—	1,353	—
商 品 ・ 製 品	1,224,017	1,094,827	1,306,707
その他の棚卸資産	1,904,570	1,659,424	1,450,565
そ の 他	31,592	36,253	34,762
<b>固 定 資 産</b>	<b>6,641,431</b>	<b>6,927,044</b>	<b>7,505,943</b>
有形固定資産	<b>4,585,160</b>	<b>4,858,727</b>	<b>5,246,133</b>
建 物	2,317,275	2,416,247	2,510,991
機 械 装 置	1,078,082	1,264,972	1,491,656
土 地	904,808	904,808	944,780
そ の 他	284,993	272,698	298,704
無形固定資産	<b>147,911</b>	<b>189,198</b>	<b>151,902</b>
投資その他の資産	<b>1,908,359</b>	<b>1,879,119</b>	<b>2,107,907</b>
投資有価証券	1,799,028	1,754,621	1,960,768
事業保険掛金	26	18	16,636
そ の 他	109,304	124,479	130,502
<b>資 産 合 計</b>	<b>16,894,948</b>	<b>16,533,730</b>	<b>15,930,202</b>

(単位：千円未満切り捨て)

負債の部			
期別	第153期 (2023年3月31日現在)	第152期 (2022年3月31日現在)	第151期 (2021年3月31日現在)
科目			
<b>流動負債</b>	<b>3,604,874</b>	<b>3,668,272</b>	<b>3,108,682</b>
電子記録債務	426,421	434,796	339,932
買掛金	1,585,364	1,524,689	1,078,143
短期借入金	400,000	400,000	400,000
1年以内返済予定の長期借入金	220,892	256,892	248,392
未払消費税等	20,308	171,067	126,629
未払法人税等	225,961	228,015	94,200
賞与引当金	286,870	266,300	218,200
その他の	439,057	386,511	603,183
<b>固定負債</b>	<b>896,459</b>	<b>1,078,997</b>	<b>1,391,553</b>
長期借入金	535,236	756,128	1,004,520
役員退職慰労引当金	111,044	95,022	177,619
預り保証金	86,643	67,577	67,575
資産除去債務	61,056	60,992	42,573
繰延税金負債	101,794	97,658	96,145
その他の	684	1,618	3,119
<b>負債合計</b>	<b>4,501,334</b>	<b>4,747,269</b>	<b>4,500,236</b>
純資産の部			
<b>株主資本</b>	<b>11,831,583</b>	<b>11,258,802</b>	<b>10,742,159</b>
資本金	1,320,740	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438	1,225,438
資本準備金	1,088,420	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	137,017	137,017	137,017
利益剰余金	9,373,069	8,800,288	8,283,565
利益準備金	205,810	205,810	205,810
その他利益剰余金	9,167,259	8,594,478	8,077,755
別途積立金	5,100,000	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	4,067,259	3,494,478	2,977,755
自己株式	△87,665	△87,665	△87,585
評価・換算差額等	562,030	527,657	687,806
その他有価証券評価差額金	562,030	527,657	687,806
<b>純資産合計</b>	<b>12,393,613</b>	<b>11,786,460</b>	<b>11,429,965</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>16,894,948</b>	<b>16,533,730</b>	<b>15,930,202</b>

# 損益計算書

(単位：千円未満切り捨て)

科目 \ 期別	第153期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	第152期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	第151期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高	10,733,137	9,978,775	8,654,588
売上原価	8,145,658	7,644,827	7,021,660
売上総利益	2,587,479	2,333,947	1,632,928
販売費及び一般管理費	1,485,115	1,361,778	1,269,826
<b>営業利益</b>	<b>1,102,363</b>	<b>972,169</b>	<b>363,101</b>
営業外収益	89,698	71,657	111,864
営業外費用	14,759	15,911	35,166
<b>経常利益</b>	<b>1,177,302</b>	<b>1,027,914</b>	<b>439,799</b>
特別損失	2,505	17,780	2,796
<b>税引前当期純利益</b>	<b>1,174,797</b>	<b>1,010,133</b>	<b>437,003</b>
法人税、住民税及び事業税	351,000	291,000	168,000
法人税等調整額	△11,563	47,249	△5,571
<b>当期純利益</b>	<b>835,360</b>	<b>671,884</b>	<b>274,575</b>

# 株主資本等変動計算書

NIKKATO

(単位：千円未満切り捨て)

第153期 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
当期首残高	1,320,740	1,225,438	8,800,288	△ 87,665	11,258,802	527,657	11,786,460
当期変動額							
剰余金の配当			△ 262,580		△ 262,580		△ 262,580
当期純利益			835,360		835,360		835,360
株主資本以外の項目の 当期変動額						34,372	34,372
当期変動額合計			572,780		572,780	34,372	607,153
当期末残高	1,320,740	1,225,438	9,373,069	△ 87,665	11,831,583	562,030	12,393,613

## 貸借対照表・損益計算書に対する注記

	第153期	第152期	第151期
1. 有形固定資産減価償却累計額	12,097,871千円	11,626,483千円	11,061,490千円
2. 担保に供している資産 投資有価証券	56,564千円	50,268千円	53,247千円
3. 1株当たり当期純利益	69円99銭	56円29銭	23円00銭

## キャッシュ・フロー

当事業年度末における現金及び現金同等物は前期末比150,432千円増加し3,508,317千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

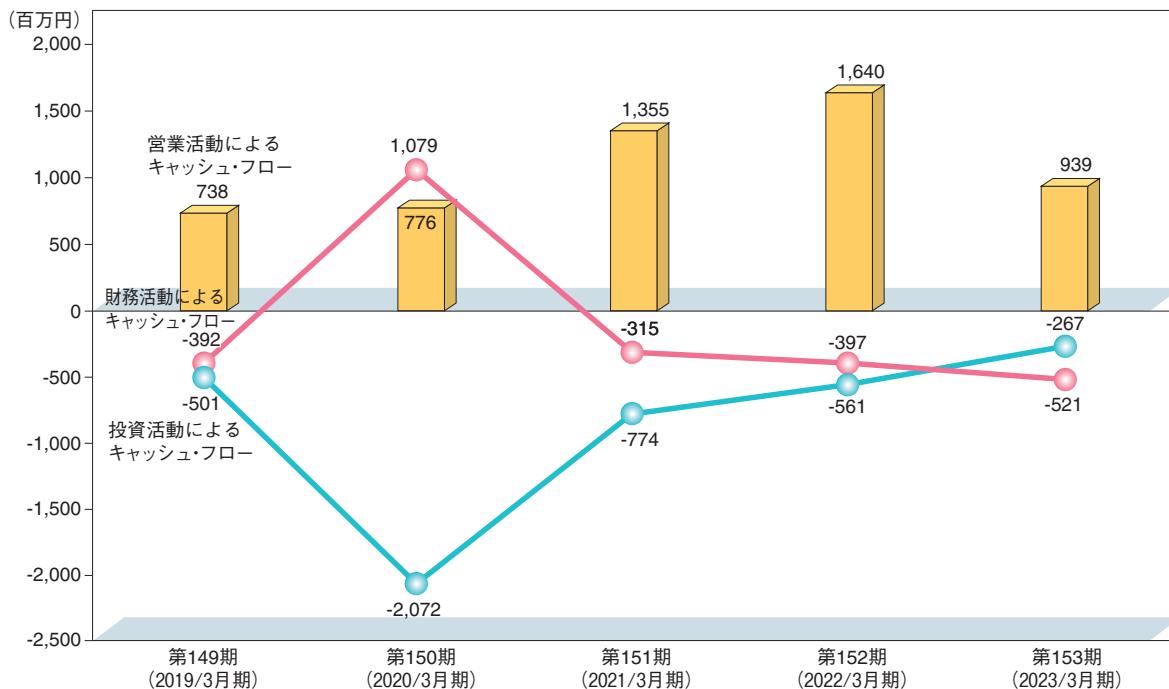
営業活動によるキャッシュ・フローは、原材料価格等の高騰に伴う販売価格の見直しを進めた結果、税引前当期純利益が1,174,797千円と前年同期比164,663千円増加いたしました。一方で、棚卸資産が△374,335千円と前年同期比377,356千円支出が増加いたしました。加えて、法人税等の支払額が△341,384千円と前年同期比176,303千円支出が増加いたしました。結果、営業活動によるキャッシュ・フローは938,735千円と前年同期比700,833千円収入が減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産合理化に向けた投資は継続して実施しているものの大規模な設備投資及び更新を実施しなかったことから有形固定資産の取得による支出が△262,381千円と前年同期比267,689千円支出が減少いたしました。結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△267,216千円と前年同期比294,081千円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金返済が△256,892千円と前年同期比17,000千円及び配当金の支払額が262,693千円と前年同期比107,307千円支出が増加いたしました。結果、財務活動によるキャッシュ・フローは△521,086千円と前年同期比124,228千円支出が増加いたしました。



## 株式会社ニッカトー 創業110周年



株式会社ニッカトーは、2023年6月1日に創業110周年を迎えました。  
 皆さまの長年に渡るご愛顧に、心から感謝を申し上げます。  
 私たちはこれからも、セラミックスと計測システムの提供を通じて  
 日本の「ものづくり」産業の発展に貢献してまいります。

# 株式の状況 (2023年3月31日現在)

## 発行可能株式総数

37,280,000株

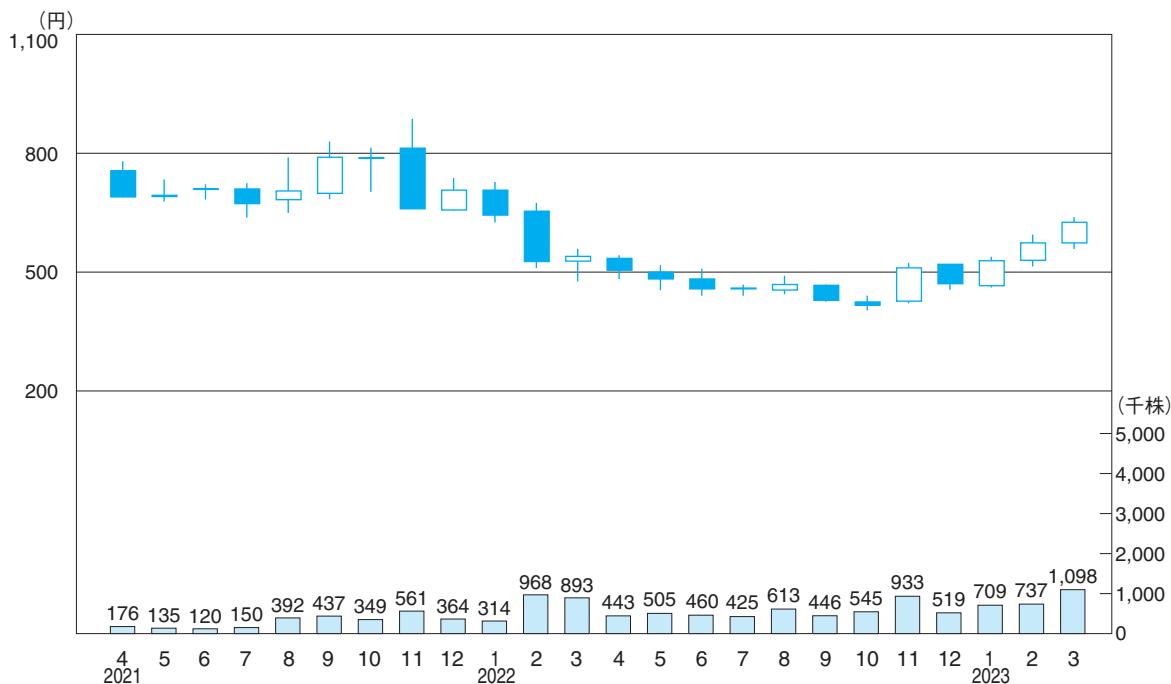
## 発行済株式総数

11,935,457株  
(自己株式200,238株を除く。)

## 株主数

3,726名

## 株価・株式売買高



## 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
ニッカトー取引先持株会	771	6.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	625	5.2
東ソー株式会社	599	5.0
株式会社チノー	574	4.8
株式会社みずほ銀行	499	4.2
ニッカトー従業員持株会	410	3.4
株式会社共和電業	400	3.4
朝日生命保険相互会社	353	3.0
株式会社ツバキ・ナカシマ	300	2.5
西村隆	290	2.4

(注) 当社は自己株式200,238株を保有しております。

## 会社の概要 (2023年4月1日現在)

NIKKATO

- 創 業 大正2年6月
- 資 本 金 13億2,074万円
- 事業の内容 セラミックス及び計測機器・加熱装置の製造・販売
- 事業所  
本 社 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3641  
東京管理部 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚) ☎(03)5978-3500  
セラミックス営業本部 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-4681  
名古屋営業所 〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2丁目2番1号(イノフィスビル) ☎(052)269-2440  
九州営業所 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目11番13号(大名偕成ビル) ☎(092)736-1285  
厚木営業所 〒243-0018 神奈川県厚木市中町1丁目8番24号(リバーサイドビル) ☎(046)296-1155  
堺 工 場 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3643  
東 山 工 場 〒599-8247 大阪府堺市中区東山670番地 ☎(072)278-0385

## 役 員 (2023年6月16日現在)

代 表 取 締 常 務 執 行 役 員	取 締 役	縮 小 取 締 役	縮 小 取 締 役	大 西 宏 司	取 締 役	土 井 祐 二
※取	縮 小 取 締 役	縮 小 取 締 役	縮 小 取 締 役	濱 田 悦 男	※取 締 役	西 村 元 昭
				田 邊 絵 理 子	※取 締 役	白 間 真 次

(注) 取締役のうち土井祐二、西村元昭、白間真次の3名が監査等委員である取締役であります。(※印の取締役は社外取締役)

会 計 監 査 人 清 稜 監 査 法 人

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 6月

配当金受領 期末配当金 3月31日

株主確定日 中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告とします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載URL (<https://www.nikkato.co.jp/>)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
みずほ信託銀行株式会社

(未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続き)

〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行 証券代行部  
0120-288-324 (通話料無料)

(証券会社に口座をお持ちの場合の各種お手続き)

お取引の証券会社

(特別口座に入っている場合の単元未満株式の買取等のお手続き)

〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行 証券代行部  
0120-288-324 (通話料無料)